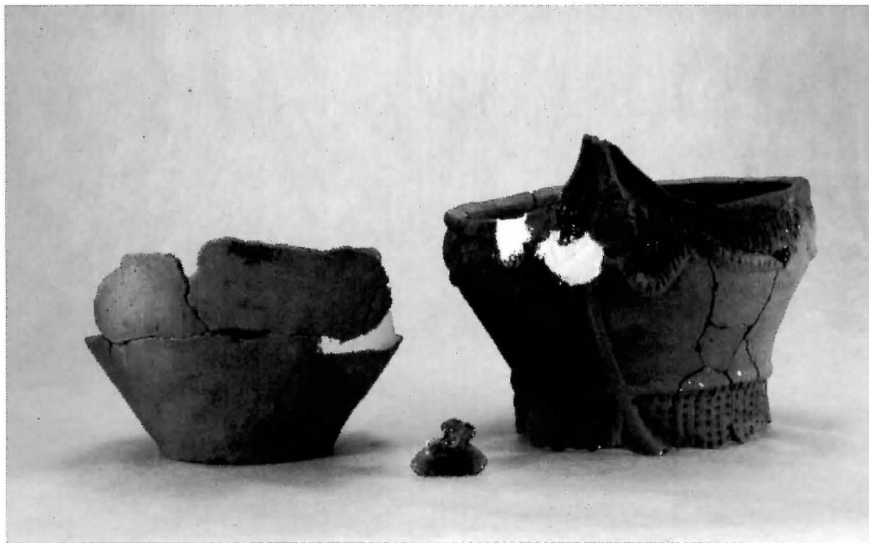


お か や し な い い せ き  
岡谷市内遺跡  
発掘調査報告書

(概 報)

平成 28 年度 広畑遺跡ほか岡谷市内発掘調査報告書



広畑遺跡 19P 内出土土器および石匙

長野県岡谷市教育委員会

# 序

平成 28 年度、岡谷市内遺跡発掘調査及び試掘・確認発掘調査の報告書（概報）を刊行することになりました。

岡谷市は諏訪湖の北西部に位置し、天竜川の水口を有し、東に八ヶ岳、南には遠く富士山を望み、季節ごとにさまざまな姿を見ることができる街です。後背には長地・塩嶺・西山の緑深き山々と、そこから流れ出ずる河川・湧水は豊かで、さらに諏訪湖は豊穡であり、これらの恩恵を受け古来多くの人々が様々な文化を育んでまいりました。

このような自然の恵みに支えられた岡谷市では、縄文時代から中世にいたる 201 箇所の遺跡があり、古くから他地域との交流交通の要衝の地として栄えてきました。このような先人の足跡は後世に伝えられるべき遺産であり、市民共有の財産であります。本市では開発事業に伴う発掘調査を実施し、貴重な資料を記録に残すとともに出土品の保存と活用に努めています。

本年度は 10 件の遺跡調査を行いました。得られた成果は貴重かつ重要であり、当時の人々の生活や社会を知る上で非常に大きな役割を果たしています。これらの成果は、岡谷市民をはじめ多くの方々に広く公開してまいりたいと考えております。

報告書刊行にあたり、調査にご理解とご協力をいただきました土地所有者ならびに事業主体者の皆様に感謝申し上げます。

本書が考古学研究に活用されるのみならず、市民の皆様の郷土史に対する理解を深める一助となることを願っております。

平成 29 年 3 月

岡谷市教育委員会

教育長 岩本 博行

# 例 言

1. 本報告書は、岡谷市内遺跡発掘調査報告書（概報）である。
2. 事業は、国の平成 28 年度国宝重要文化財等保存整備費補助金の交付を受けて、岡谷市教育委員会が実施した。
3. 調査は、国の補助金交付を受けた岡谷市教育委員会が、平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 17 日まで実施した。整理作業は現場作業の少ない時期に行ったが、十分な整理が終了していないため概報の掲載にとどめてある。
4. 出土遺物、記録図面、写真などの資料は岡谷市教育委員会が保管している。
5. 本報告書の原稿執筆は山田武文が行い、全体の編集・作図は事務局が行った。

# 目 次

序

例言

目次

1. 平成 28 年度 試掘・確認発掘調査および詳細分布調査の概要 ..... 1
2. 広畑遺跡の詳細分布調査 ..... 2

報告書抄録

番号	調査期間	遺跡名	所在地	調査の原因	主な遺構・遺物	遺構遺物の時代	調査面積(m <sup>2</sup> )
1	4.5	榎垣外 スクモ塚	長地源二丁目3123-4	個人住宅建設	なし		4
2	5.9	東町田中	長地柴宮三丁目1506-1外	宅地造成工事	なし		4
3	5.12	東町田中	長地柴宮三丁目3206番	店舗建設	なし		4
4	5.13~5.23	榎垣外 スクモ塚	長地鎮一丁目3646-2外	宅地造成工事	なし		36
5	5.23~5.27	扇平	長地出早二丁目5792-2外	宅地造成工事	なし		28
6	6.21~6.23	榎垣外 片間町	長地片間町一丁目2332-1外	個人住宅建設	なし		8
7	8.1~12.22	広畑	川岸上四丁目1616-1外	詳細分布調査	土器片2箱、石片10袋、石鏃、石匙、打斧	縄文	56
8	9.6~9.7	外畝	山下町一丁目2658-イ外	個人住宅建設	なし		8
9	11.7	岡屋	川岸上二丁目4740-イ-4	市道路整備	なし		4
10	11.9	新倉長塚	川岸中三丁目3558-1	倉庫建設	なし		8

第 1 表 平成 28 年度 試掘・確認発掘調査および詳細分布調査

# 1. 平成 28 年度 試掘・確認発掘調査および詳細分布調査の概要

本年度、市内周知の遺跡において農地転用、公共事業等が計画・実施され、岡谷市教育委員会が対応した件数は7遺跡10件である。調査の原因は、個人住宅建設が3件、宅地造成が3件、その他が3件、ほかに詳細分布調査が1件である。

本年度の調査では、広畑遺跡の詳細分布調査（次項）以外に遺構遺物の発見はなかった。榎垣外遺跡の政庁院東側では遺構遺物ともに全くなく、郡家の土地利用について良好な資料が得られた。岡屋遺跡においては、山腹傾斜面を遺構ごと大きく掘削して林道が造られていて、林道には何も残存していなかったことが確認できた。



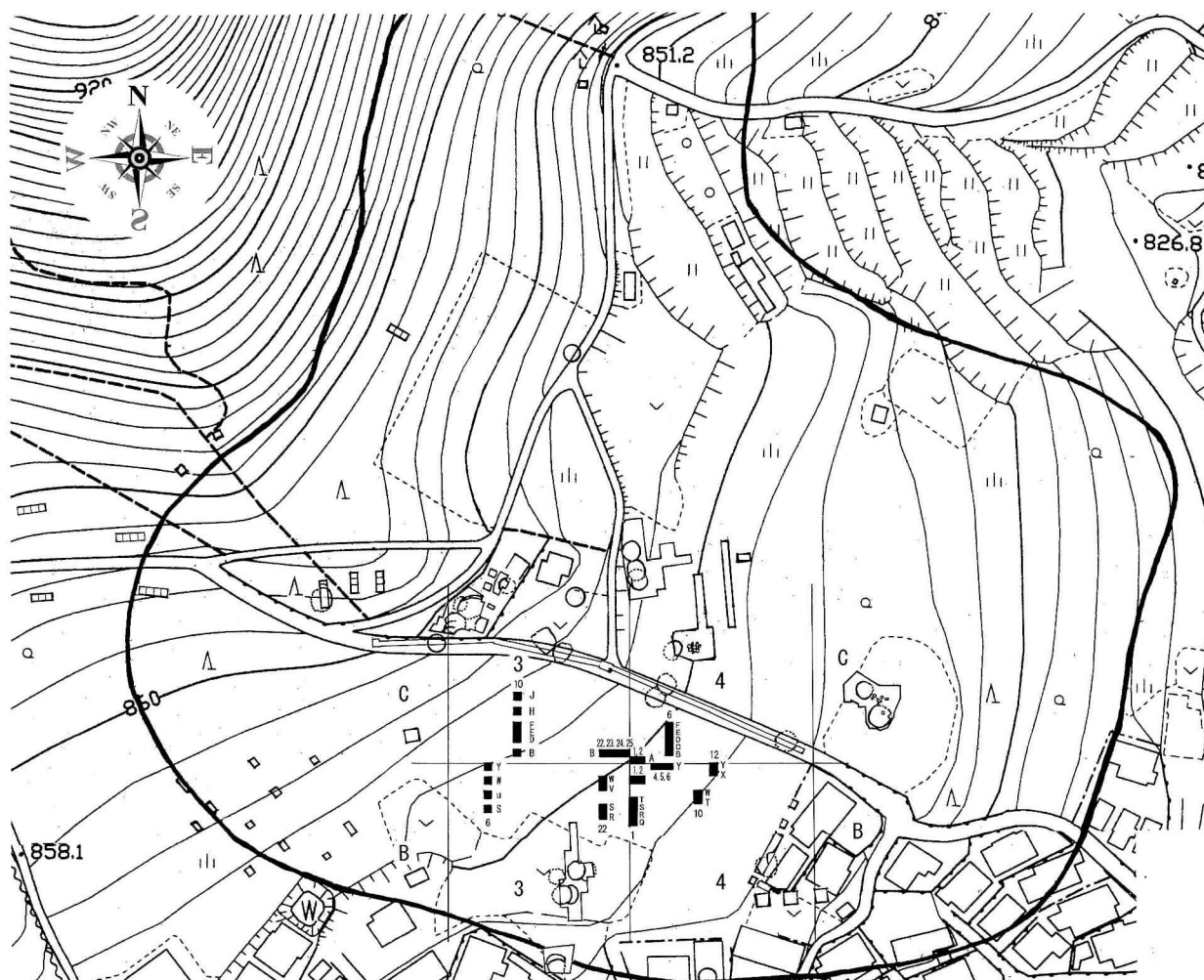
第1図 試掘・確認発掘調査および詳細分布調査地点（番号は第1表の一覧表に同じ 1：40000）

## 2. 広畑遺跡の詳細分布調査

調査の場所	岡谷市川岸上四丁目 1616 - 1 外
調査の期間	平成 28 年 8 月 1 日～平成 28 年 12 月 22 日
調査の目的	遺跡の保存・活用を図るための基礎資料とする
発見された遺構	縄文時代・・・小竪穴、小穴
発見された遺物	土器片、石片、石鏃、石匙、石錐、打製石斧、磨製石斧、磨石類、砥石、横刃形石器、大形粗製石匙

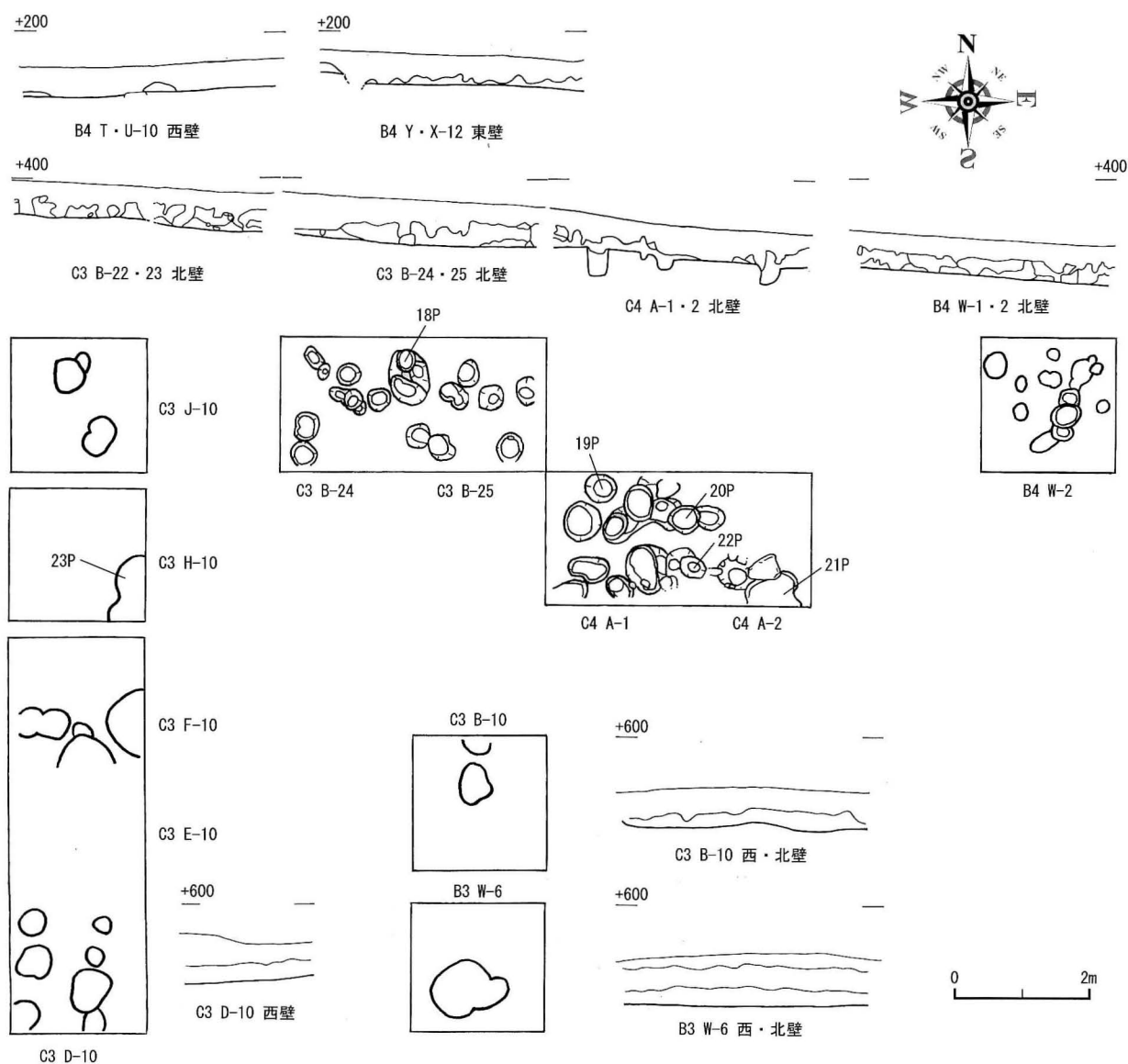
広畑遺跡は、今回の詳細分布調査を含め 16 次に及ぶ発掘調査が行なわれ、住居跡 40 棟、小竪穴 23 基と多量の遺物が発見されている。特に、打製石斧の多さは特筆され、このことや様々な事柄から井戸尻文化との類似性がいわれてきた。遺跡の範囲や一部集落構造については、昭和 47 年度・平成 12 年度の分布調査、昭和 61・62 年度・平成 2・12・16 年度等の発掘調査により徐々に明らかにされている。詳細については「広畑遺跡」報告書（2001（平成 13 年）年 3 月刊 腰原綾ほか 岡谷市教育委員会）を参照されたい。

今回の詳細分布調査は、遺跡の保存・活用に向けた遺構分布と土層確認をおこなった。調査範囲は主に旧養命酒の 4 段（遺跡東側から順）ある元薬草畑で、一段目は駐車場として利用するため調査していない。



第 2 図 トレンチ位置図（黒塗り部分 1：2000）

傾斜地を平らに整地し畑地としていたため、地点により地山ローム層までの浅い深いがみられている。概して、北側道路際は浅く南側が深い。調査の中心は2・3段目の畑地で、4段目は昭和47年度に試掘され、遺構はなく多くの遺物が発見されている。2段目はB4のT・U-10とX・Y-12を設定し、地表下45cmほどで地山のローム層となるが、その上はほぼ一層（旧耕作土と思われる）で遺物を包含するが、遺構は発見されていない。3段目はほぼ遺跡中央部にあたり、C3B～J-10、B3S～Y-6は地山ローム層において小竪穴・小穴を確認したところまで、C3B-22～25、C4A-1・2およびB4W-1・2は一部の小竪穴をその状況確認のため必要などころまで掘り下げ調査している。C3B～J-10・W-6・B-24～25、C4A-1～2、B4W-2は小竪穴群を確認したが、B-22・23、W-1とS・U・Y-6では確認されていない。これは、馬蹄形に並ぶ住居跡とその内側の北側部分にある小竪穴群、小竪穴のない東・西・南側部分という構造がみえてくる。遺物は表土層（旧耕作土と思われる）からローム層上までの全層で出土していて、ローム層までは約50～80cmの深さがある。発見された小竪穴の中には土器や石器を埋納する（18・19・20・22P）、土器片を敷き詰める（21P）などの墓壙的な様相がみられるものがある。



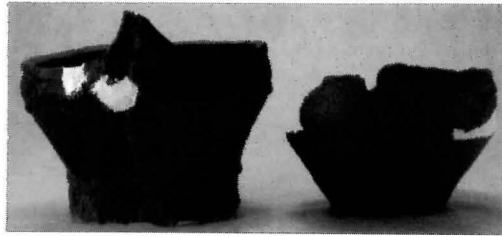
第3図 遺構分布図およびセクション図 (1:100)



図版1 出土土器



18P



19P



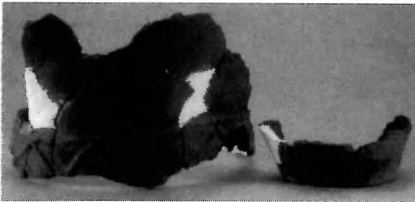
21P



22P



C4 A-1.6



C4 A-1.20

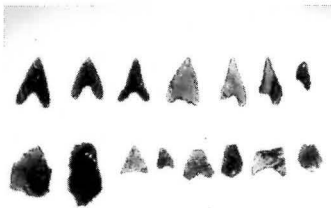


C4 B-6.21



21P

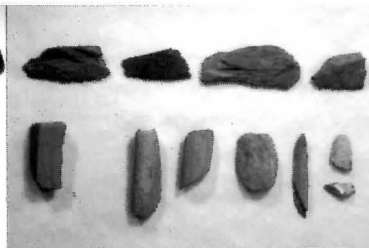
図版2 出土石器



石鏃



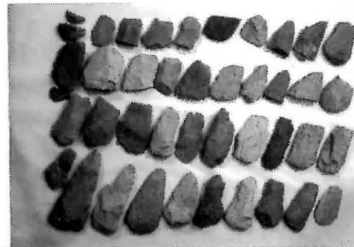
石錐・石匙・不定形石器・原石



横刃形石器・砥石・乳棒状石斧・磨製石斧



大形粗製石匙



打製石斧



磨石類(磨石・凹石)

# 報告書抄録

書名ふりがな	おかやしないいせきはつくつちょうさほうこくしょ (がいほう)
書名	岡谷市内遺跡発掘調査報告書 (概報)
副書名	平成28年度広畑遺跡ほか岡谷市内遺跡発掘調査報告書
シリーズ名	
シリーズ番号	
編著者名	長野県岡谷市教育委員会
編集機関	長野県岡谷市教育委員会
発行機関	長野県岡谷市教育委員会
発行年月日	20170317
作成機関 ID	20204
郵便番号	394-8510
電話番号	0266-23-4811
住所	長野県岡谷市幸町8-1
所収遺跡名ふりがな	ひろはたいせき
所収遺跡名	広畑遺跡
所在地ふりがな	ながのけんおかやしかわぎしかみよんちょうめ ほか
遺跡所在地	長野県岡谷市川岸上四丁目1616-1外
市町村コード	20204
遺跡番号コード	23
北緯	36° 03' 06"
東経	138° 01' 34"
調査期間	20160801~20161222
調査面積	56.0m <sup>2</sup>
調査原因	詳細分布調査
種別	集落
主な時代	縄文時代
遺跡概要	集落-縄文-土器片+石片
特記事項	